

## 第19回 第2章 現代の経済

### 第2節 現代経済のしくみ

# 家計・企業・政府

講師  
升野伸子

#### 学習のねらい

今回のテーマは、「家計・企業・政府」です。経済活動のプレーヤーには、家計、企業、政府の3つがあり、それぞれどのような特色があるのかを学んでいきます。そして、この見方を使って、改めて経済活動を見て、それぞれの経済活動の持つ意味や役割を理解していきましょう。

調べておこう  
覚えておこう

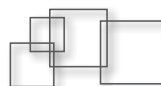
家計／所得／NGO／税金／NPO／  
経済活動の循環／企業／政府

※下記の空欄 \_\_\_\_\_ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

#### POINT 1

### 経済社会のプレーヤーは？

- 経済活動とは、どのようなことでしょうか。私たちが生きるために、さまざまなものを消費しなければなりません。また、そのためには、消費するものを誰かが生産しなければなりません。それらの活動がうまくいくように、ルールを作ったり守らせたりする活動も必要です。このような視点で人間の活動を見ていくのが、経済活動なのです。
- 消費の中心となるのが ① \_\_\_\_\_ です。①は家庭で行う経済活動です。家族が生きていくためには、さまざまな財やサービスが必要で、これらのものを用意するところでもあります。
- 私たちが消費するものを、生産しているのが、② \_\_\_\_\_ です。②は、生産したものを売ってお金に換え、生産活動を繰り返していきます。
- 生産と消費だけで経済活動はうまくいかないのが、第3のプレーヤーが必要です。それが③ \_\_\_\_\_ です。
- このほかにも、④ \_\_\_\_\_ や⑤ \_\_\_\_\_ も、経済社会のプレーヤーです。これらは、企業と政府の間のような性質をもっています。また、外国と取り引きをすれば、外国もプレーヤーとなります。



**POINT 2**

**プレイヤーの数と活動**

- 家計は、以前はさまざまな財やサービスを、自ら生み出し消費してきました。しかし今では、多くのものを、買って消費するようになりました。家計が得ているお金のことを、<sup>⑥</sup> ..... といいます。働いて得られるお金もあれば、それ以外の方法で得られるお金もあります。日本には、人口のおよそ半分の5,390万世帯があり、そのそれぞれが家計です。
- 企業は、客に買ってもらえるように、さまざまな工夫をしています。企業の客には、家計だけでなく、政府やほかの企業もあります。
- 経済活動を行う上での、ルールを作ったり、それを守らせたりする活動を行っているのが、政府です。政府には、都道府県や市町村の役所も含まれます。そこで働いている人の給料や、活動に必要なお金は、<sup>⑦</sup> ..... によってまかなわれています。家計・企業・政府、これら3つのプレイヤーが適切に活動していくことで、経済活動は成り立っています。

**POINT 3**

**経済活動の循環**

- 1つの商品も、その原材料をたどっていくと、たくさんのものでつながっています。そして、それらの原材料の動きと反対方向にお金が流れています。また、商品の代金の一部は、作り手の給料になります。また、その給料で買い物をして……と、経済活動はお互いに、網の目の様に結びつきながら回っています。このことを<sup>⑧</sup> ..... といいます。
- 循環しているときには、財やサービスの動きと反対方向に、お金が動いています。お金は、財やサービスの流れをスムーズにする役割を果たしています。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

①家計 ②企業 ③政府 ④NPO ⑤NGO ⑥所得 ⑦税金 ⑧経済活動の循環